令和５年度事業計画

１　基本方針

我が国の経済は低迷期にあり、日本銀行は低金利政策を続け、景気回復に取り組んできましたが、昨年２月に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、原油価格の高騰を招き、諸物価が上昇し、市民生活に大きな影響を及ぼしています。

一方、３年を越えた新型コロナ問題は、今年に入ってから感染者数が減少したため、国はウイズコロナと称し、経済活動を再開・活性化させる方向に舵を切りました。マスク着用を屋内・屋外とも個人の判断とするとともに、新型コロナを５月８日から、様々な対応を必要とする２類から５類に引き下げることとなりました。

また、国は景気を回復させるべく、経済団体に賃金のベースアップを求めています。その波及効果が拡がることが期待されます。

当センターの運営状況は、新型コロナの感染者が伝えられた令和２年度の初めに、個人のお客様の注文が減少しましたが、ほぼ例年どおりのご注文を頂くようになりました。公共関連では、小山市の新庁舎が昨年完成したことにより、市役所及び水道部の休日夜間受付業務が統合され、指定管理者に移行されたことにより、センターの受託契約額が減少しています。

当センターも、今年度に創立４０周年を迎え、１２月に記念事業を計画しています。これを機会に地域社会の臨時的・短期的・軽易な需要に応え、高齢者の積極的な社会参画を支援する原点に立ち返り、会員の智慧を結集し、センターを運営していくことが大切です。公共関連の業務は減っていますが、草取り・草刈り等の個人のお仕事は確実に伸びていますので、市民の皆様の期待に応えられるように努めてまいります。

また、就業拡大に向け、市内事業所を対象にシルバーの有用性を訴え、お客様の多様なニーズに対応した事業を展開してまいります。農業支援を始め、広域的に展開できる事業については近隣センターと協力し、事業の実現に努めます。独自事業については会員の参画を得て、体制を整え取り組んでまいります。

会員数については減少傾向にあるため、センターに対する市民の認知度を高める必要があります。ホームページ、市内全戸配布チラシによる広報活動を行います。また、小山市内で実施される地域の行事やボランティア活動に参加するとともに創立４０周年記念事業、シルバーフェスタ等を通じて、市民との交流を図り、普及に努めてまいります。

近年、女性の活躍推進が叫ばれております。当センターにおきましても、女性の就業機会の確保、交流の場の拡大、女性委員等の増大を図るため、女性会員のセンター事業、委員会等への積極的な参画を促してまいります。

今年度は第４次中期計画の４年目を迎えますが、センターの役割として、①就業機会を提供し、会員相互の交流を図り自主的な活動を支援し、②地域社会に貢献できるセンターを目指します。運営にあたり、「自主・自立」「共働・共助」を基本理念の下、長年培ってきた技能や知識、経験を活用し、会員同士が語らい、親切・丁寧な仕事を提供することにより、市民の信頼に応えてまいりたいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

２　シルバー人材センター事業

（１）事業運営

「わかりやすい・質の高いサービス」の提供（お客様満足度の向上）

ア　就業機会提供事業

㋐　請負・委任
㋑　職業紹介
㋒　労働者派遣

イ　就業機会確保事業

㋐　就業機会の提供（請負・委任、職業紹介、労働者派遣による）
・就業情報のホームページへの掲載
・会員データ管理による効率的な就業機会の提供
・就業案内へのメール活用の推進（会員メールアドレスの登録推進、Smile to Smile の登録推進と活用）
・相談窓口を活用した就業の促進

㋑　就業先の拡大
・派遣事業の普及・拡大を図る
・新規分野の受注を目指すとともに、独自事業の開発に努める（農業支援、墓地管理、エアコンクリーニング等）
・女性会員向けの就業先の開拓

ウ　普及啓発事業

㋐　普及啓発促進月間行事の充実
・創立４０周年事業の実施
・シルバーフェスタの充実（会員同士の交流、市民との交流）
・地区別クリーン作戦の実施

㋑　会報「シルバーだより」の発行配布、「ＰＲチラシ」全戸配布

㋒　ホームページの充実

エ　適正就業と安全就業の推進

㋐　ワークシェアリングの検討・推進

㋑　安全パトロールの実施

㋒　事故事例の検証を行い再発防止に努める

㋓　チェックリストを見直し、安全パトロールの実効性を高める

㋔　安全標語を募集し、安全意識の普及を図る

（「安全はすべてに優先する」をモットーに活動する）

オ　会員数の拡充

㋐　入会説明会の完全実施、出前説明会の実施

㋑　女性会員の比率の向上

・女性会員活性化のイベントの実施

・女性向けの入会説明会の実施

㋒　会員の口コミによる入会勧誘の推進（ポイント制の検討）

㋓　未就業会員のフォローアップを行い、退会者の減少を図る

カ　会員の資質向上

㋐　会員の資質向上を図るための研修会の実施

㋑　安全就業・健康づくりに資するための研修会の実施

キ　地区活動の推進

㋐　地区会議、地区別クリーン作戦等の地区活動への支援

ク　地域交流活動

㋐　渡良瀬遊水地クリーン作戦等地域ボランティア活動への参加

㋑　高齢者福祉施設等でのボランティア活動

（2）法人運営

「開かれたセンター運営を目指す」

ア　運営体制の強化

㋐　「自主・自立」を基本とする会員主体の自主的な運営を目指す

㋑　会員にセンター運営の意義を再度伝え、運営参加を促進する

㋒　女性リーダーの発掘・育成を図り、運営等への参加を促す

㋓　会員と事務局との連携を強化する

㋔　事務の効率化と経費節減

・先進センターの事例を収集し、事務事業の改善に努める
・事務の効率化を図り、経費節減に努める
・職員の研修機会を増やし、事務局の充実に努める

イ　定款に定める会議の開催

㋐　理事会　　事務執行状況や会員の入会承認などセンターの事業運営に重要な案件を審議・決定する（年１２回程度）

㋑　総　会　　定時総会（６月開催）

参　考

第４次中期計画　令和５年度実施計画

◎総務部会

・運営組織総括
創立４０周年記念事業の実施
適正就業基準・ワークシェアリングの見直検討（適正就業担当と共同）
インボイス制度の研究

・会員開発担当
出前入会説明会、女性向け入会説明会の実施
リーダーシップのある女性会員の発掘

・適正就業担当
適正就業基準・ワークシェアリングの見直検討（運営組織総括と共同）
定時公募の実施（必要に応じて臨時公募の実施）
未就業会員の減少

・地域貢献担当
創立４０周年記念事業の実施
シルバーフェスタ（１２月）、クリーン作戦の実施（１０月）
各行事への会員参加率向上に向けての検討

◎広報部会

・広報・編集担当
「シルバーだより」「かわら版」「全戸配布チラシ」の発行

・ホームページ担当
ホームページの活用促進
会員向け情報サービス「Smile to Smile」の導入

◎事業部会

・職群班担当
職群班長会議の開催（４月、１０月）
安全パトロール・就業先訪問の実施

・就業開発担当

エアコンクリーニング事業の拡大
就業拡大のための事業所訪問の実施
農業支援、墓地管理の拡充
・研修会担当
熱中症予防対策講習会の実施
普通救命講習会の実施
接遇マナー講習会の実施
認知症サポーター講習会の実施
交通安全講習の実施
フレイル予防講習の実施
・女性委員会
女性会員の活性化につながる自主活動の推進
女性会員就業分析
子育て支援に係る就業拡大事業の検討
女性会員のリーダー発掘
・安全委員会
安全パトロールの実施
事故発生に係る事故防止の検証
熱中症に対する注意換起
安全標語の募集